

牧之原市消防団女性消防隊（牧之原市）

「これならできる」と思える 防災ハンドブックの作成

組織概要

- ・ H26年4月当時7名で発足され、市内幼稚園・保育園への花火教室の実施や、市内小中学校への救命講習の実施をしている。
- ・ R5年12月現在では17名の女性が所属し、R4年に「これなら♪BOOK」を作成。

きっかけ・課題

- ・ R4年度に女性消防隊独自で会議を実施し、新しい取組を検討。
- ・ 隊員の関心が高く、女性隊の強みを生かせる「女性に配慮された避難所づくり」及び「生理の問題」をテーマとした、気軽に目を通せるハンドブック作成を実施。

取組概要

【作成の目的】

- ・ 声が届きにくい女性特有の被災リスクを周知し、女性自身が備える機会を作ること。
 - ・ 対象は10～40代の女性や防災を意識していない人、備えたいけど手を付けられていない人とした。
 - ・ 性別や年齢等関係なく誰もが有事の際も支えあえる環境をつくること。
- 「これならできる」と思えるものとして、【これなら♪BOOK】と命名。

【大切にしたこと】

- ・ 一般的な「防災マニュアル」ではなく、自分で考え行動できるツールを目指す。
- ・ 気軽さや身近さを感じられ、普段から活かせる心構えや知恵を盛り込んだ。
- ・ 被災時こそ声を上げづらい「生理」「性被害」を具体的に示し、女性の備えを促すとともに、周囲の理解や協力を促していきたい。（男性にも参考になるようなものとした）
- ・ 性別関係なく当事者として考えられるよう、基本的な内容から次第に女性特有の問題に触れていく構成になっている。



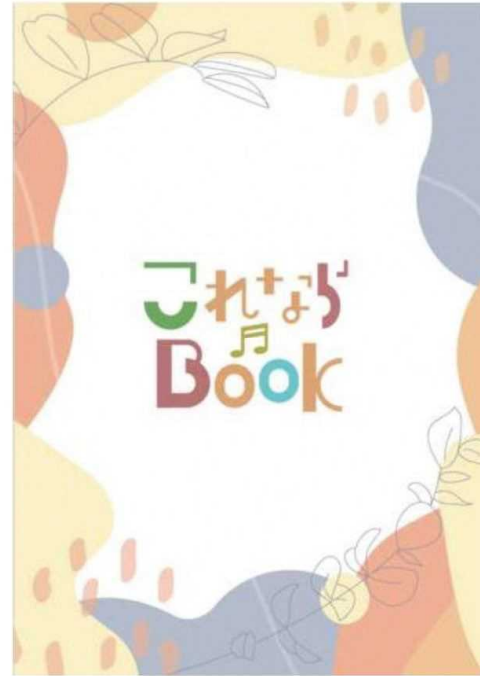
これなら♪BOOK作成の様子

団体連絡先

牧之原市消防団女性消防隊
牧之原市危機管理課消防係
TEL：0548-23-0057
FAX：0548-23-0049
Mail：
shobo@city.makinohara.lg.jp

牧之原市消防団女性消防隊（牧之原市）

【これなら♪BOOK完成後の取組】



『これなら♪Book』解説書

表紙・タイトルのこだわりp.1

何気なく手に取ってもらえるようなタイトルやデザインを意識しています。

●タイトル「これなら♪Book」について
・・・そこまで「防災」を意識していない方や、意識しつづかなか手が付けられていない方にも、「これならできそう♪」と思って取り組みそうな内容を表したタイトルです。
「防災」という文字が入っていると意識が高い方が手に取るイメージがあり、見た目からは防災ガイドであるということがわからないようにしています。

●デザインについて
女性の被災リスクについて考えることを目的に作成しましたが、性別関係なく読んでいただきやすいようなデザインになっています。

(配架する場合は手に取っていただきやすいよう下記POPを掲示。)



災害時の女性の視点に立った避難所生活など知識を含め、警察活動に活用することを目的に、牧之原警察署にて職員向け講習会を実施（令和5年10月）。

【作成にあたってのアドバイザー】

- ・ 静岡大学教育学部 教授 池田恵子様
- ・ アウトドア防災アドバイザー あんどうりす様
- ・ 弁護士防災士 永野海様